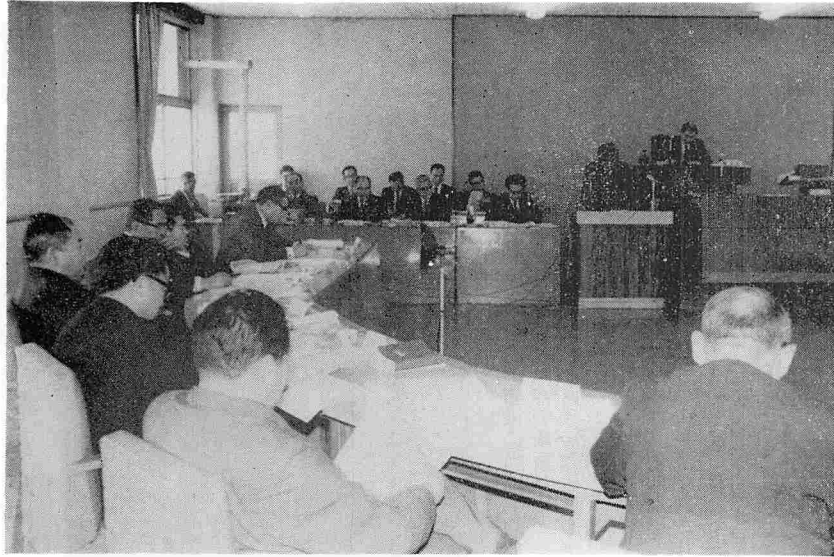


町報 てんの町

発行・秋田県天王町役場 電話(018878) 2211~4
編集・企画室 印刷・一日市印刷 電話(018875) 2038

町のうごき	
本籍数	4,910
本籍人口	15,366
世帯数	3,818 (3,890)
住民登録人口	14,430 (14,487)
内	{
男	7,025
女	7,405
3月1日現在	
()内は2月1日現在	



▲議案を審議する議員と説明にあたる町当局

20案件を原案可決

50年度予算も決まる

三月 定例町議会

三月定例町議会が一日に開かれた。当日は、会期を十四日までの十四日間と決め、四十九年度の一般会計補正予算案を可決、監査委員の選任に同意したあと、町長の施政方針演説が行われた。四日には一般質問が行われ、四氏が質問に立った。引き続き五日は議案審議に入り、五十年各会計の予算案、町条例の改正案など十八案件を原案どおり可決して十四日に閉会した。

一般会計

126万円を減額

今回一般会計は百二十六万五千円が減額され、四十九年度の総額は、十億七千五百九十六千円となった。減額されたものは、民生費の老人医療費の六百二十四万二千円、湖岸保育所の材料費などの百八万円などが増額した主なもの。県知事、県議会議員一般選挙費の五十五万円など。

2310
円 リットル

し尿くみ取り料がアップ

四十四年から据え置きになっていました。本町のし尿くみ取り料金がこれまで十リットル当り十七円二十二銭であったのが、四月一日から二十三円になります。

宿泊料を 引き上げ

経済事情の変動により、宿泊料の値上がりのため、議員、三役、一般職員の宿泊料、日当などが引き上げられた。それによると、議員、三役の宿泊料が県内五千五百円、県外七千円に、日当は県内千円、県外千二百円に改められ、一般職員は県内五千円、県外六千五百円に引き上げられ、日当は課長職などにある一等級職員は県外千五百円、県内九百円に、二等級以下の職員は県外千円、県内八百円に引き上げられた。

所管は、教育委員会で、文化財専門委員会を設置して運営されることになる。

中小企業への融資 限度額 百五十万円に

中小企業振興融資あっせんに関する条例が改正され、融資額と貸付期間が拡大された。融資の最高限度額は、いままで七十万円であったのが百五十万円になり、貸付期間は、いままで二年以内であったのが三年以内になった。

町営住宅 入居資格の 限度額が改正

また、農業委員、教育委員などの非常勤特別職員の年額、月額、日額、日当が引き上げられた他、消防団員の年額も引き上げられた。

二田保育所 定員が80名に

二田保育所への入所申し込みが増えたため、四月から収容定員を六十名から八十名に増員した。これに伴い、保母一名に自動車運転手も加えられた。

文化財を保護 条例を制定

本町の文化財を保存し、活用するため「天王町文化財保護条例」が新たに制定された。文化財は、建造物、絵画、工芸品、古文書などの有形文化財と、演劇、音楽などの無形文化財、衣食住、年中行事に関する風俗などの民俗資料、貝塚、庭園、海浜などの記念物にわけられている。

三浦氏 監査委員に

議会議員の任期満了に伴い、議員のうちから選任された監査委員が欠員になっていたため、三浦兼吉氏(六十一歳、上江川)を選任するというもので、議会の同意を得た。

〈そ菜、果樹〉

価格安定対策に6百万

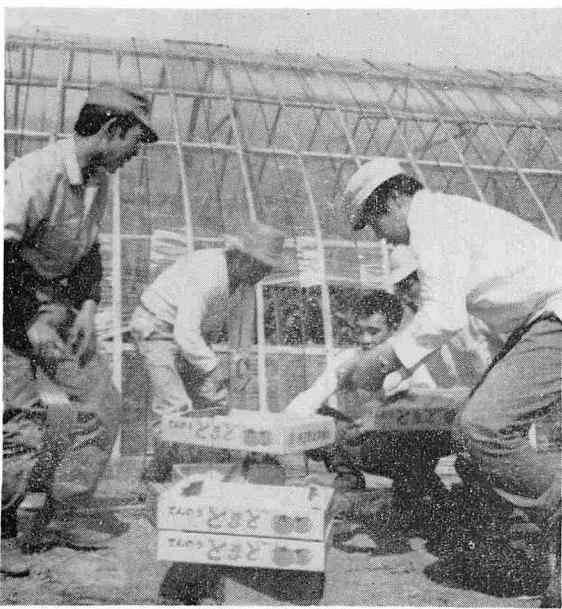
新規に土壌調査を実施

第二の産業の振興についてであります。昨年の豪雪は果樹を中心として本町農業に大きな被害を与え、長期気象予報では当初不作を予想されましたが、幸い、米作は最近にない豊作といわれるまでになり、また米価も大幅な改訂となりました。しかし、肥料をはじめとする農業資材や賃金の高騰により農家経済は必ずしも好転したものではありません。農業経営には依然として厳しいものが内包され、その体質改善の必要を認め種々の論議はありながらも、なお根本的解決策については関係者も町においても暗中模索、未だその確実な方針を打ち出し得ないのが現状であります。

事情をふまえながら農業の生産増強と環境整備のための農道の整備、また地力増強のための客土事業を前年度に引き続き実施いたすことになっておりますが、新たに土壌調査を実施いたしたと存じます。

そ菜及び果樹生産者の経済の安定と健全なる発展を図るため新たに青果物に対する価格安定補償制度を設けたいと存じ、その基金として六、〇〇〇千円を拠出することになっております。

しかしながら、これをもって満足すべきものでなく食糧の自給度を高めることは国の基本方針であり、本町も今後農業の生産と農家生活の合理化の推進には積極的に取り組まなければなら



りませんが、農家自身も自らの問題として、自らの努力による適切な解決策の創造を期待するものであります。

国、県が企画する秋田湾地区大規模工業開発については、調査も概ね終了いたし、県においてはその基本計画の作成を五十年

度に着手することに本町の町づくりが、この計画は本町の町づくりには大きな影響をもたらすものであります。総需要抑制、経済低速成長の中にあつて、どう対処するかは今後議会の皆様とともに慎重に考えなければならぬ問題であり、公害の防止や自然環境の保全、生活環境の

天中に給食施設

湖岸運動場も整備

第三に、教育の充実と環境の整備についてであります。「町づくりは人づくり」にあり、「モットー」にすべての住民が、その持つべき能力を充分引き伸ばすための教育の機会と環境の整備に努力してまいります。

また、天王小学校には給食施設の整備、東戸小学校にはグラウンド整備、湖岸小学校には教室天井張り替え工事及び給食施設の整備、追分小学校には排水及び給食沈でんそう工事、天王中学校には給食施設建設工事等の経費を計上してあります。

天王町育英会に対しては、その基金を三、〇〇〇千円に増額し、前年に引き続き補助いたしたいと存じます。

なお、私立幼稚園については増額し、前年に引き続き補助いたしましたが、なお検討すべき問題もあり、関係各位とも協議

整備など、解決すべき幾多の問題があり、住民とともに考え、対話の中に本町の将来を誤らざるよう対処すべく、前年度に引き続き住民の先進地視察の経費を計上いたしてあります。

昨今の不況により、町内商工業をとりまく経済環境は厳しいものがあり、その事態に対処するため特別融資制度基金を増額いたし、また中小企業振興融資債務保証料を補助するとともに商工会の一層の指導を期待し、商工振興の一助として同会に対する補助の増額をいたしてあります。

努力と協力で

期待にそう

最後に、ことし一月の町議会議員選挙は定数二十名という厳しい中で行われ、町民の選良として見事当選されました議員各位に対し、心から敬意を表するとともに、議決機関として町行財政を鋭く監視くださるよう、

市民館関係については、自己啓発と研修のための学級講座を増加いたしました。農近ゼミナールについては、前年度途中より農業指導センターの設置により、運営の関連性を考慮し、これを経済課所管にいたしました。保健体育関係においては、前年度着手の湖岸地区総合運動場建設工事を一、二、六四〇千円で継続実施いたすこととしております。

水道料を据え置き

～国保、水道、宅造会計～

昭和五十年年度国民健康保険事業特別会計予算は、前年度当初に比較し、三、四〇〇千円に増加いたしました。

二九・七増の六、六三六千円となつておりますが、本予算は経営予算がその主なものであります。

療養給付費は医療費の値上げに

本来水道料金はコストとの関連で、合理的な水準に設定されるべきものであります。不況下における家庭経済の影響も考慮し、本年度は値上げをしておりません。

昭和五十年年度町営宅地造成事業特別会計予算は、前年度当初に比較し、一四・六減の六八六四〇千円となつております。

昭和三十九年度町営宅地造成事業特別会計予算は、前年度当初に比較し、一四・六減の六八六四〇千円となつております。計画を上回る一三八区画の売り渡しとなり、本年度は残り三二区画の売却を見込んでおります。

昭和三十九年度町営宅地造成事業特別会計予算は、前年度当初に比較し、一四・六減の六八六四〇千円となつております。

昭和三十九年度町営宅地造成事業特別会計予算は、前年度当初に比較し、一四・六減の六八六四〇千円となつております。

昭和三十九年度町営宅地造成事業特別会計予算は、前年度当初に比較し、一四・六減の六八六四〇千円となつております。

昭和三十九年度町営宅地造成事業特別会計予算は、前年度当初に比較し、一四・六減の六八六四〇千円となつております。

昭和三十九年度町営宅地造成事業特別会計予算は、前年度当初に比較し、一四・六減の六八六四〇千円となつております。

昭和三十九年度町営宅地造成事業特別会計予算は、前年度当初に比較し、一四・六減の六八六四〇千円となつております。

五十年

当初予算決まる

昭和五十年年度の各会計の当初予算が決まった。
六日から各常任委員会で審議して、昭和三十九年度の一般会計

八千円で、昨年度より一億四千六百九十二万二千円の増となった。
特別会計も国民健康保険事業が三億二千七百九千円で昨年度より八千三百二十六万二千円の増、簡易水道事業も六百六十三万六千円で百五十二万二千円の増、宅地造成事業は六千八百六十四万円で、一千百七十六万二千円の減となった。

当初予算から見た 主な50年度事業

事業名	事業費(千円)	内容
街灯新設事業	3,000	50灯
町営住宅建設事業	80,208	二種24戸
湖岸地区老人憩の家建設事業	24,300	276.9㎡
消防施設整備事業	6,000	防火貯水そう5基
二田追分線舗装	9,630	286m
江川海岸線舗装	3,980	490m
町営住宅団地道路舗装	4,940	389m
中分水線舗装補修	2,870	650m
上出戸2号線	490	110m
江川部落内	260	30m
塩口部落内	2,330	296m
長沼2号線排水ポンプ場新設	3,380	4.95㎡
良質米生産対策事業	1,880	客土30ha
土壌分類調査事業	2,590	500ha
持谷地区畑地整備事業	16,054	道路371m等
新縄手地区	3,629	500m
持長根地区	4,224	500m
蒲沼地区	3,796	463m
下分水地区	8,257	1,262m
三軒屋地区	3,522	398m
天王小給食施設整備事業	2,156	増築18 15㎡等
出戸小グラウンド整備事業	1,870	整地3,100㎡
東湖小給食施設整備事業	610	煮炊釜取り替え等
天王中給食施設建設事業	25,428	189.46㎡
湖岸地区総合運動場建設事業	12,640	観覧席工事等

民生委員24名決まる

気軽に相談を

任期満了(十一月三十日)になった民生児童委員に二十四名の方々が決まった。
さきに民生委員推せん会で、候補者を決定し、推せん内申の結果、十二月一日付で厚生大臣と県知事から委嘱辞令が伝達された。
住民の方々
は、民生のことで困っていることがありましたら担当の民生児童委員に気軽にご相談してください。
担当地区と氏名は

次のとおり

塩口 榎庭慧子 羽立 安田サキ子 渋谷 塩口北野 中羽立 佐藤イッ子 神明町 児玉俊一 下町 東荒町、

二田三区上、四区、蒲沼、鶴沼台 山田シズ 加賀谷久治郎 西、児玉 鈴木リツ 二田新町 天野ミヨ 二田二区、三区 下 伊藤清一郎 二田駅前 東 三浦暢昭

二田三区上、四区、蒲沼、鶴沼台 山田シズ 加賀谷久治郎 西、児玉 鈴木リツ 二田新町 天野ミヨ 二田二区、三区 下 伊藤清一郎 二田駅前 東 三浦暢昭

西荒町 柏崎イッ 本町、曲町下 柏崎四郎 曲町上 石黒クニ 上荒町、旭町 児玉兼蔵 江川上 伊藤金一 江川下 伊藤キヨ 大崎上 一郎 追分北 宇佐美正巳

商工会珠算検定試験

62名が合格

町商工会では、二月十六日に天王中学校で行った第三十九回商工会珠算検定試験の合格者をこのほど発表しました。
当日の受験者は百二十九名で合格者は、二級の石川晴美さん、菊地令子さん他六十名。
〔合格者〕

〔二級〕石川晴美(天王小) 菊地令子(出戸小)
〔三級〕榎庭那子(天王小) 越後谷美子(同) 渡部真由美(山代珠算教室) 森元晃一(同) 安田峰子(加賀屋珠算教室) 武藤由紀子(同) 武田智(同) 加藤宏(同)
〔四級〕安田妙子(天王小) 三浦美紀子(山代珠算教室) 鈴木美奈子(同) 吉田敏子(同) 三浦美由樹(同) 畠山操(同) 樋口良信(同) 佐々木功一(同) 佐々木勇子(加賀屋珠算教室) 佐藤正美(追分小) 遠間義弘(山代珠算教室) 進藤徹(同) 三浦初子(同) 京谷義則(同) 村上武文(同) 渡部千晴(同) 佐々木由加子(加賀屋珠算教室) 加賀谷晴子(同) 高橋恵利子(同) 川端明美(同) 石山厚子(追分小) 小玉珠恵子(同) 〔六級〕小柳桂子(山代珠算教室) 小柳博嗣(同) 千浦香(同) 鈴木さつき(同) 鈴木元樹(同) 京谷義則(同) 安田久仁子(同) 鈴木憲(同) 高田靖子(追分小) 長谷川伸也(同) 江畑玲子(同) 豊沢恵(同)

〔七級〕安田健悦(山代珠算教室) 三浦礼子(同) 加賀谷恵(加賀屋珠算教室) 金秋子(同) 加賀屋るみ(同) 菊地民子(同) 坂谷千春(追分小) 岡真千子(同)
〔八級〕菅原郁子(山代珠算教室) 三浦美保子(同) 安田重子(同) 三浦美香子(同) 海老沢礼子(同) 三浦紀子(同) 三浦文字(同) 工藤登貴子(追分小) 小野雅人(同) 泉裕美子(同)



民俗資料

ハタハタ大漁記念碑
これは下出戸浜山のハタハタ供養碑で明治三十五年の建設となっている。この年は晴天十日の大漁で眠るヒマもないほどの大忙しであったという。今はこのようなことは昔語りとなって松林の中路ばたに無言の塚が立っている。

きれいな一票
住みよい郷土
知事選挙と県議会議員選挙
投票日 4月13日(日)

春の火災予防週間
四月六日～十二日
「生活の一部に
しよう火の点検」
期間中、サイレンが、
午前六時と午後七時に
鳴ります。

50
年度

8億8096万8千円の内訳

歳入

歳出

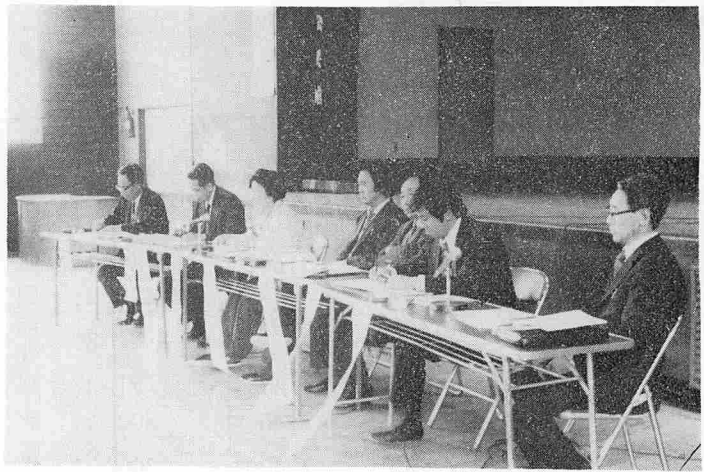
単位は千円

△は減額

款 項	本年度	前年度	比較	款 項	本年度	前年度	比較
1. 町 税	122,658	99,303	23,355	1. 議 会 費	26,921	22,651	4,270
1. 町 民 税	40,988	30,793	10,195	1. 議 会 費	26,921	22,651	4,270
2. 固 定 資 産 税	48,366	40,595	7,771	2. 総 務 費	129,425	103,036	26,389
3. 軽自動車税	3,624	3,686	△ 62	1. 総務管理費	70,989	57,290	13,699
4. 町たばこ消費税	17,877	15,199	2,678	2. 徴 税 費	19,007	15,709	3,298
5. 電 気 税	9,439	8,337	1,102	3. 戸 籍 住 民 費	8,353	5,982	2,371
6. 木材引取税	1	1	0	3. 基 本 台 帳 費			
7. 特別土地保有税	2,363	692	1,671	4. 選 挙 費	3,738	4,609	△ 871
2. 地方譲与税	7,700	7,400	300	5. 統 計 調 査 費	4,621	2,317	2,304
1. 自動車重量税	7,700	7,400	300	6. 監 査 委 員 費	238	144	94
3. 自動車取得税金	10,800	7,500	3,300	7. 交通安全対策費	2,154	1,879	275
1. 自動車取得税金	10,800	7,500	3,300	8. 企 画 費	20,325	15,106	5,219
4. 地方交付税	465,619	356,026	109,593	3. 民 生 費	160,949	107,022	53,927
1. 地方交付税	465,619	356,026	109,593	1. 社会福祉費	64,812	36,839	27,973
5. 交通安全対策特別交付金	787	834	△ 47	2. 児童福祉費	87,598	64,536	23,062
1. 交通安全対策特別交付金	787	834	△ 47	3. 国民年金事務費	8,538	5,646	2,892
6. 分担金、負担金	24,799	51,544	△26,745	4. 災害救助費	1	1	0
1. 分 担 金	24,799	51,544	△26,745	4. 衛 生 費	25,382	18,662	6,720
7. 使用料、手数料	16,886	13,667	3,219	1. 保健衛生費	14,650	11,369	3,281
1. 使 用 料	15,186	12,166	3,020	2. 清 掃 費	9,432	7,293	2,139
2. 手 数 料	1,700	1,501	199	3. 上 水 道 費	1,300	0	1,300
8. 国庫支出金	94,304	86,381	7,923	5. 労 働 費	618	539	79
1. 国庫負担金	43,244	44,946	△ 1,702	1. 労 働 諸 費	618	539	79
2. 国庫補助金	46,932	38,578	8,354	6. 農林水産業費	101,362	124,118	△22,756
3. 国委託金	4,128	2,857	1,271	1. 農 業 費	101,301	124,083	△22,782
9. 県支出金	63,396	63,859	△ 463	2. 水 産 業 費	61	35	26
1. 県負担金	8,215	7,705	510	7. 商 工 費	5,209	3,643	1,566
2. 県補助金	48,461	50,854	△ 2,393	1. 商 工 費	5,209	3,643	1,566
3. 県委託金	6,720	5,300	1,420	8. 土 木 費	136,981	128,966	8,015
10. 財産収入	756	541	215	1. 土 木 管 理 費	9,347	6,801	2,546
1. 財産運用収入	158	217	△ 59	2. 道 路 橋 梁 費	32,854	29,696	3,158
2. 財産売払収入	598	324	274	3. 住 宅 費	93,785	88,332	5,453
11. 繰越金	20,000	0	20,000	4. 都 市 計 画 費	995	4,137	△ 3,142
1. 繰越金	20,000	0	20,000	9. 消 防 費	67,310	48,200	19,110
12. 諸収入	7,263	5,791	1,472	1. 消 防 費	67,310	48,200	19,110
1. 延滞金、加算金料	3	3	0	10. 教 育 費	166,715	118,745	47,970
2. 町預金利子	1,000	800	200	1. 教育総務費	22,403	15,134	7,269
3. 寄託金元利収入	4,100	3,075	1,025	2. 天 王 小 学 校 費	15,065	16,347	△ 1,282
4. 雑 入	2,160	1,913	247	3. 出 戸 小 学 校 費	10,328	7,779	2,549
13. 町 債	46,000	41,200	4,800	4. 東 湖 小 学 校 費	7,643	5,524	2,119
1. 町 債	46,000	41,200	4,800	5. 追 分 小 学 校 費	8,553	25,766	△17,213
歳入合計	880,968	734,046	146,922	6. 天 王 中 学 校 費	40,794	12,066	28,728
				7. 天 王 幼 稚 園 費	6,591	4,962	1,629
				8. 出 戸 幼 稚 園 費	8,116	4,631	3,485
				9. 学 校 給 食 費	11,752	8,630	3,122
				10. 社 会 教 育 費	19,709	15,773	3,936
				11. 保 健 体 育 費	15,761	2,133	13,628
				11. 公 債 費	59,596	57,964	1,632
				1. 公 債 費	59,596	57,964	1,632
				12. 予 備 費	500	500	0
				1. 予 備 費	500	500	0
				歳出合計	880,968	734,046	146,922

夢のある町づくりをめざして

第8回目の公民館大会



右から阿部 丸谷、京谷、堀井
真壁、桜庭、安田(司会)の各氏

八回目の公民館大会が三月九日町公民館で行われ、社教委員、公民館運営委員、分館長、婦人会、青年会などから百七十名が参加、地域における社会教育のセンターとして、公民館、分館運営のあり方を求めた。

町営住宅 入居者を募集

ただいま、町営住宅塩口北野の平屋建て(三DK)一戸で募集しているのは、第二種住居の募集です。四月五日まで役場建設課へ申し込んでいただきます。

が発表した。六人のパネラーには、町公民館運営審議長の桜庭清美氏、婦人会長の真壁キサ氏、青年会長の堀井政一氏、天王本郷分館長の京谷金之助氏、塩口分館主任の丸谷昇氏、戸出小学校長の阿部金保氏がなり、「館長の常勤制」「分館主事体制」「分館施設の整備」「公民館利用範囲の拡大」「分館予算と活動」「自治公方式の問題」など、それぞれの立場からの要望、悩みなどを発表した。

不燃物もいつしよに

今月から同じ日に収集

雪どけとともに家のまわりから多くのゴミが出ております。清潔で快適な生活を営むために不法投棄をしないで必ず自家処理をしてください。

このほど町農業委員会では、五十年度の農業労賃を決め、発表しました。それによると田植えが手植えで二千元になり、前年から見て四百円のアップとなった。



手植えは二千元 50年度の農業労賃決まる

このほど町農業委員会では、五十年度の農業労賃を決め、発表しました。それによると田植えが手植えで二千元になり、前年から見て四百円のアップとなった。

- ▲稲刈り、脱穀、調整 手刈り一日二千元、バインダー(十a当り)五千元、コンバイン(同)一万七千元、ハーベスタ(同)五千元、乾燥(同)千五百円、籾すり(一俵)三百円
- ▲運搬作業 トラクター一日七千元
- ▲一般作業 男一日三千元、女一日二千元
- ▲他町村や他部落から雇用する時は実費を加算し、作業にはいっさい「まかない」はつけないことにしている。
- ▲田植え 手植え一日二千元
- ▲代かき 整理田二千三百円、未整理田二千四百円、干拓田二千五百円、いずれも十a当りで構造改善事業は場の整地作業を含む場合は、整理田の労賃に三百円を加算
- ▲苗取り 一日二千元

自動車重量税のあらまし

自動車にかかる税金には、物品税、自動車重量税のほか自動車取得税、自動車税、軽自動車税があります。

自動車重量税は、道路運送車両法の規定で、自動車検査を受ける自動車(軽自動車を含む)および使用の届け出により車両番号の指定を受ける軽自動車に對し、その重量に依りてかかります。

許可を得て から浄化槽を

定期点検も忘れずに

最近、個人住宅においても水洗便所を取り付ける場合が多くなっております。

設置者が、点検清掃の資格を持っていない場合は、町で許可している「特定し尿浄化槽清掃業者」と保守契約を結んで管理委託をしなければなりません。

ただし、大型特殊自動車や原動機付自動車、小型特殊自動車および届け出軽自動車のうち、すでに車両番号の指定を受けたことのある中古車は、一定の手続きをすれば課税されません。

雪どけとともに家のまわりから多くのゴミが出ております。清潔で快適な生活を営むために不法投棄をしないで必ず自家処理をしてください。

このほど町農業委員会では、五十年度の農業労賃を決め、発表しました。それによると田植えが手植えで二千元になり、前年から見て四百円のアップとなった。

自動車重量税は、道路運送車両法の規定で、自動車検査を受ける自動車(軽自動車を含む)および使用の届け出により車両番号の指定を受ける軽自動車に對し、その重量に依りてかかります。

現代つ子とはいえ、女生徒の涙ぐむ
シーンは今も昔も変わらない



《思い出を胸に》

天王中で179名が卒業

「先生、在校生の皆さん、長い間お世話になりました。苦しい時、悲しい時は、若さ、フアイトで恩師、仲間を忘れずに自分の選んだ道を歩みつけます」
3月15日、天王中学校の第28回卒業式が行われ、179名が思い出多い学びやを巣立っていった。この日、斎藤校長は「天王中学校に新しく、そしてすばらしい伝統の芽を育ててくれてありがとう。皆さんには、それぞれ新しい生活が待っているが、中学校で学んだことを土台に、自信と誇りをもってがんばってほしい」と、はなむけのことばをおくった。
みんなに祝福されて卒業した生徒は、楽しかったこと、つらかった思い出を胸に、3年間育ててくれた母校にサヨナラを告げた。

県バツチテストに 十四名合格

山岳スキー協会

天王町山岳スキー協会（会長 鈴木久米雄、会員二十七名）では去る三月二十三日乳頭スキー場で開催された県連スキーバツチテストに参加、十四名が合格した。

- ▼一級 菊地政義 ▼二級 伊藤良勝 佐藤孝 古山金悦 菅生一也 ▼三級 鈴木久米雄 鈴木精悦 根一 中泉作右エ門 鈴木利美 伊藤清孝 三浦喜博 水戸瀬馨 安田誠子

短歌（二月会から）

天王町短歌会選

羽立 安田 美子
はこぶ足に老をみせたるわが祖母に心のかてを失わせたくなし
二田 村井 広子
文字知らぬ子供のカルタとり読みだせば瞳かがやき絵を見てとりぬ
渡谷 桜庭アヤエ
おどりの好きの嫁が習いしおどりをば手振り足ふみ我にも教えり
追分 成田 和
些かの控除ならんも束ねたる医料証なれば申告に持つ
塩口 桜庭 タエ
春早く氷を割りて糸垂れる釣人たちのそここに見ゆ



レクリエーションとして行われた風せんわりゲーム

友情の輪を広げよう

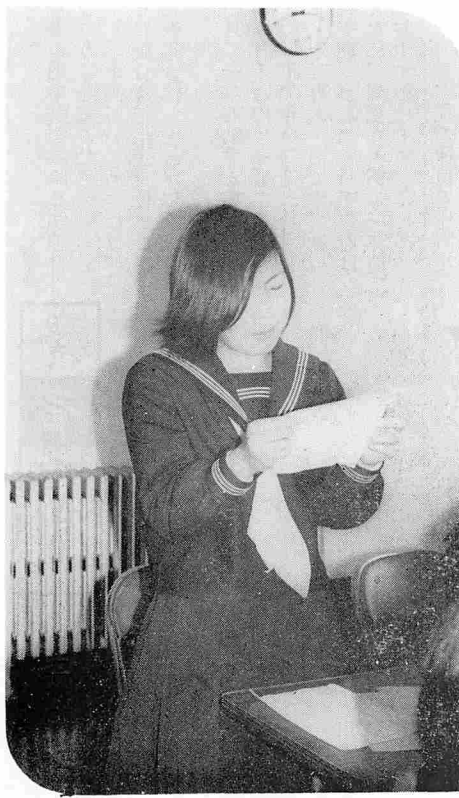
町内のスポ少で大会

スポーツ少年団の活動をさらに活発にしよう——と、スポーツ少年団本部と同団の指導者連絡協議会では、五回目のスポーツ少年団大会を三月二日、天王小体育館で行った。
本町には、六つのスポーツ少年団があり、西北剣道、東湖第一、同第二、出戸剣道、天王柔道、天王剣道の各団から百三十名のチビッ子たちが集まった。
まず、柔剣道の基本技を中心に合同引き合い、引き続き西北剣道と天王剣道の対抗試合柔道は天王スボ少同志でトーナメント戦を行い、一年間の活動の成果を披露した。このあと、参加したチビッ子たち全員で、風せんわりゲームなどのレクリエーションで大会を締めくくった。
各スポーツ少年団では、健康なからだと心を養い、友情の輪を広げようとの一致したスローガンの中で、各スポーツ少年団ともそれぞれの特徴を生かした団活動を続けており、たくましい足音を響かせている。
が発揮される。皆さんは、人間としてみんなに愛され、信頼される心豊かな社会人になってほしい」と激励。
これに答えて岐阜県に就職する桜庭洋子さんが「天王町に住む、天王中学校を卒業したことを誇りに思い、勇気と自信を持ち、郷土と母校を傷つけないようがんばります」と、あふれる涙をこらえながら力強く誓った。
ことし、同校を卒業、社会人としてスタートする生徒は十九名、このうち県外就職は三名、県内就職一名、技術取得のための職業訓練校へ十二名、看護学校二名、家事の手伝い一名となっている。
小さな社会人は町から贈られた記念品を手に、二十一世紀に向かつて大きな夢を描いている。

心豊かな社会人に

天中就職者激励会

町では、ことし天王中学校を卒業し、社会人となる生徒の激励会を三月十二日、町公民館で行った。
まず町長が「人間は逆境に立つた時にほんとうの真価、個性



▲「郷土と母校を傷つけないようにがんばります」と、就職者代表の桜庭洋子さん

